

平成26年度 新潟市家庭部 活動報告

部長 松本 朋子

1 研究主題

できる喜びを感じ、生活をよりよくしようとする子どもの育成
～かかわりを大切にした問題解決的な学習の工夫～

2 研究の概要

昨年度に引き続き、研究の視点として「視点1：見通しをもった題材構成の工夫」「視点2：かかわりの重視（体験的な活動、調べ活動、言語活動）」「視点3：学びの振り返りと評価」の3つを挙げ、それぞれの内容に迫る指導方法について研究を進めた。今年度は内容C「快適な衣服と住まい」での研修を深めるため、洗剤と油汚れについての実験実習やフェルトを使った教材製作を行った。また、食育・花育センターで箸の使い方講習や食事バランスチェックなどを行い、家庭科授業を担当していない部員が食育指導でも生かせるような研修を行うことができた。

3 研究の実際

(1) 授業研究・・・9月11日 新潟市立新関小学校 長谷川美紀子 教諭

第6学年「これでばっちり！洗濯は任せて！！」

本題材では、視点1から「ねらいの明確化による教材の精選」、視点2から「人とのかかわり」「もの（教材）とのかかわり」、視点3より「振り返りの場の設定」について、重点的に取り組んだ。

子どもたちは、布の吸水実験やニンヒドリン反応の実験を通して衣服の汚れ方の特徴や洗濯の必要性に気付いた後で、自分の靴下を使って手洗い洗濯をした。洗濯実習をする際、家族から聞いてきた情報を共有し、「気をつけポイント」としてまとめ、そのポイントに気をつけながら靴下を洗濯するとよいのか、各自が明確なめあてをもって洗濯実習をすることができた。

自分が実習直前まではいていた靴下を手洗い実習に使用したことで、その後の靴下以外の手洗い実習や、家庭実践へつなごうとする意欲的な姿が見られた。一方泥汚れや油汚れなど目に見える汚れの洗剤液中での汚れの落ち方は分かったが、もみ洗いやつまみ洗いなど手洗いによる汚れの落ち方の違いまでは気付くことができなかった。

(2) 実技講習会・・・11月19日・12月10日

11月には「授業に生かせる教材作り」として、一般的に学校で使われているセット教材で小物作りを行った。制作中、子どもたちへの指導のポイントを確認したり、グループを回って情報交換をしたりすることにより、基本技能を使って楽しくできる作品がいくつも紹介され、有意義な時間となった。

12月には食育・花育センターを訪問し、「箸の使い方名人講座」「栄養バランスチェック」を体験し、今後の食育指導に生かせる内容を体得できた。

4 成果と課題

今年度は、内容Cを中心に研究授業まで見通した研修や実験実習を設定したことで、より充実した研修をすることができた。

また、関東・甲信越地区の代表として全国小学校家庭科教育研究会全国大会（秋田大会）に出席し、新潟市小学校教育研究協議会家庭部の実践を広く全国に発信することができた。